

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (656), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (660), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価, 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns: 評価, 改善策及び展開方向. Includes a comment field and a direction for improvement.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (662), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main project overview table (1. 事業の概要(PLAN)) containing sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial and activity data.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table (2. 事業の評価(DO+CHECK)) with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性, and (6) 事後評価.

3. 事後評価

Post-evaluation table (3. 事後評価) with columns for 評価コメント and 改善策及び展開方向.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (664), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価, 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	665	課コード	0601	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)															
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	開発行為の指導・道路用地の寄付帰属		実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	建設部・道路課						
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市										
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	7人 (換算人数)		0.62人								
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	5,456千円 (うち人件費 5,456千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード	63201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)					
(2) 目的	施策目的・展開方向	安全で快適に通行できるよう、狭あい道路の幅や路切の改良など、市民の生活に密接にかかわる生活道路の計画的な整備を進めます。			事業目的	開発行為により、安全で快適な道路整備と狭あい道路の解消を図る。									
(3) 事業内容	内容	周辺の道路状況を考慮しながら、道路の規格及び安全施設等の付帯施設整備について開発事業者と協議し、指導する。また、開発行為により整備された新設道路及び幅員道路の用地については、帰属により取得し、市が適正に維持管理する。			当該年度執行計画	開発行為申請事業者の意思によるため、特に無し。									
		当該年度活動結果指標	処理件数/申請件数×100	単位	%	想定値	100	実績値	100						
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値					
当該年度	申請に対する指導の処理率				直接	処理件数/申請件数×100		%	100	100					
令和2年度	申請に対する指導の処理率				直接	処理件数/申請件数×100		%		100					
令和3年度	申請に対する指導の処理率				直接	処理件数/申請件数×100		%		100					
(7) 事業実施上の課題と対応	関係部署との親密な調整が不可欠である				代替案検討	○有 ●無									
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度							
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			開発行為許可事務 道路用地帰属寄付申請事務	0 0		開発行為許可事務 道路用地寄付帰属申請事務	0 0	0 0	0 0		開発行為許可事務 道路用地寄付帰属申請事務	0 0		開発行為許可事務 道路用地寄付帰属申請事務	0 0
		予算(決算)額	合計	0	合計	0	0	0	合計	0	合計	0		合計	0
		国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		補助率 0%	0
		県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		補助率 0%	0
		起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	0	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0		充当率 0%	0
		一般財源		0		0	0	0		0		0			0
		その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0		□特会 □受益 □基金 □その他	0
		換算人数(人)		0.98		0.62	0.62		0.5			0.5			0.5
正職員人件費		8,624		5,456	5,456		4,400			4,400			4,400		
嘱託職員報酬額		0		0	0		0			0			0		
臨時職員賃金額		0		0	0		0			0			0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		8,624		5,456	5,456		4,400			4,400			4,400		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		86.24千円/%		54.56千円/%	54.56										

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	開発行為で整備される宅地、道路、公園、排水施設等の整備計画を、周辺市街地の状況や地形等を考慮して、関係課で調整して指導する必要がある。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 開発行為の申請があったため、指導を行うとともに、開発行為による寄付・帰属での続きを行う必要があった。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ■②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 宅地開発における道路整備に関する審査及び検査は、法令により市で行うこととされているため。 また、開発行為で整備された道路は法令により市に帰属することとされているため。 寄付行為は以後の維持管理を行う市が主導で進めなければ実効性がないため。	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要
	100	100	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 申請を受け指導した開発行為において、道路整備がすべて完了したため。		
					100	100			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	1.83		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価									
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	開発行為による道路整備の指導については、良好な住宅地の供給に資する重要な事情であるため現状どおり推進する。	改善策及び展開方向
----	---	-----------

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (666), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Summary table for post-evaluation with columns: 現状, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (667), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a table for status and a text box for comments.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	668	課コード	0601	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	道路愛称の定着化		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	建設部・道路課	
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市				
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	2人 (換算人数) 0.05人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初) 440千円 (うち人件費 440千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	63203	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	魅力ある快適な道路空間をつくるため、その地域や道路にふさわしい路面のインターロッキングブロック舗装、街路灯のLED化、サインのデザイン、街路樹の選定などを行うとともに、街路樹の適切な維持管理を行います。			事業目的	市民生活のふれあいの場である道路に、わかりやすく親しみのある愛称を付たことで自分たちの住んでいる町に愛着を持って頂くとともに、利用する市民や訪問者に必要な情報をわかりやすく正確に伝導する。				
(3) 事業内容	内容	主要道路の愛称について、道路愛称検討委員会に諮問し、これを受けて愛称を決定。当該道路に愛称看板を設置するとともに、住宅地図や道路地図等に掲載依頼、ホームページへの掲載等により広く愛称の定着を図る。			当該年度執行計画	道路愛称の定着の推進				
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	道路愛称の定着				直接	愛称定着率	%	0	100	
令和2年度	道路愛称の定着				直接	愛称定着率	%		100	
令和3年度	道路愛称の定着				直接	愛称定着率	%		100	
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	平成30年度		平成31年度				令和2年度		令和3年度	
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		道路愛称定着	0		道路愛称定着	0	0		道路愛称定着	0
	予算(決算)額	合計	0	合計		0	0	合計		0
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0
	一般財源		0		0	0		0		0
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.04		0.05	0.05		0.04		0.04
	正職員人件費		352		440	440		352		352
	嘱託職員報酬額		0		0	0		0		0
	臨時職員賃金額		0		0	0		0		0
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		352		440	440		352		352
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	3.52千円/数		4.4千円/%		4.4					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
	市民生活のふれあいの場である道路にわかりやすく、親しみのある愛称をつけ自分たちの住んでいる街に愛着を持つと共に商店会のマップや住宅地図等にも掲載を依頼し、道路を行き交う者に対し、必要かつ正確に情報伝達を行う事業である。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 道路愛称の定着を進め住宅地図などに道路愛称が掲載された。				○要 ●不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ■②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 道路管理者である市が、市道の道路愛称の定着を推進していく必要があるため。		○要 ●不要
	●②自治体である市が推進すべきである (理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		<その他の内容>		<その他の内容>		
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因> なし		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因> なし		
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ●②目標値未達成		○要 ●不要
	0	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (%)	達成率 (%) (f/b × 100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 住宅地図や道路地図への掲載依頼が進まなかった。		
					0	0			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100	事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	440	△88	<削減の内容>		440	100	<超過理由等>		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	22.73		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e) × 100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 住宅地図や道路地図への掲載依頼が進まなかった。		
					0	0			

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					
	日常生活に密着した市道について、市民、利用者等から愛着をもっていただき、道路の情報を提供していただくことは、行政への関心につながるため効果的な事業として今後も現状どおり推進していく。									

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (671), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状, 改善案及び展開方向

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (672), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 30, 31, and 32.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a comment on safety and future maintenance, and a direction for improvement.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (674), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進).

Final summary table with columns for 評価コメント and 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (675), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	677	課コード	0601	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策 □経常 ■なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	道路パトロール	実施計画への位置づけ	○有 ●無	②部課名	建設部・道路課				
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	20人 (換算人数)	1.36人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	8,856千円	当該(開始)年度	(当初) 13,165千円 (うち人件費 11,968千円)	(変更後) 千円 (うち人件費 千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード	63202	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無	部門別計画への位置づけ	(計画名)		
(2) 目的	施策目的・展開方向	安全で快適に通行できるように、道路用地と道路施設の適切な管理や効率的・効果的な維持補修を行います。			事業目的	現道の支障箇所を早急に発見・解消し、車両・歩行者の安全を確保する。					
(3) 事業内容	内容	市道の構造を保全し、円滑な通行を確保するために行う			当該年度執行計画	定期パトロール (年4回) 状況調査パトロール (年2回) その他パトロール (適宜、台風等の発生後に随時)					
		当該年度活動結果指標	パトロール実施率	単位	%	想定値	100	実績値	100		
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該年度	現道の支障箇所を早急に発見して車両・歩行者の安全を確保する。				直接	パトロール実施率 (パトロール実施件数/パトロール実施予定件数)	%	0	100		
令和2年度	現道の支障箇所を早急に発見して車両・歩行者の安全を確保する。				直接	パトロール実施率 (パトロール実施件数/パトロール実施予定件数)	%		100		
令和3年度	現道の支障箇所を早急に発見して車両・歩行者の安全を確保する。				直接	パトロール実施率 (パトロール実施件数/パトロール実施予定件数)	%		100		
(7) 事業実施上の課題と対応	市内総延長52.1kmあることから、維持管理必要箇所の把握は困難であるが、パトロールの強化により、対応していきたい。				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		道路パトロール		0	道路パトロール		0	0	道路パトロール		0
		2号嘱託職員人件費0.25	646		2号嘱託職員人件費0.25	646	646	646	2号嘱託職員人件費0.25	646	646
		1号嘱託職員人件費0.25	556		1号嘱託職員人件費0.25	551	551	551	1号嘱託職員人件費0.25	551	551
予算(決算)額	合計		1,202	合計		1,197	1,197	合計		1,197	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	
	一般財源			1,202			1,197			1,197	
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.98		1.36		1.36		0.98			
	正職員人件費	8,624		11,968		11,968		8,624			
	嘱託職員報酬額	1,202		1,197		1,197		1,197			
	臨時職員賃金額	0		0		0		0			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	9,826		13,165		13,165		9,821		9,821		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	98.26千円/%		131.65千円/%		131.65						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	安全に通行できる道路機能の確保及び排水等道路施設の維持を通じて快適な生活環境の実現				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった				○要 ●不要
	<想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 安全に通行できる道路機能の確保及び排水等道路施設の維持のため、道路パトロールを実施した。								
(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ■②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 道路法第42条の規定で定められているため		○要 ●不要
	●②自治体である市が推進すべきである (理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容> なし		<その他の内容> なし				
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				予定通りパトロールを実施することができた。		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要
	0	100	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (%)	達成率 (%) (f/b × 100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 年間計画通り実施できた。		
					100	100			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100	事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	13,165	△3,339	<削減の内容>		13,165	100	<超過理由等>		
事業費削減率 (%)		△33.98							
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	0.76	単位	費用単位	●①単年度の指標: 目標値 × 費用単位 / 事業費 ○②複数年度の指標: (目標値 - 現況値) × 費用単位 / 事業費	実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e) × 100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
		%	10万円		0.76	100			

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	定期的に道路パトロールを実施し、通行上の危険箇所の把握、迅速な補修等を行うことで道路通行の安全確保を図ることができるので、今後も現状通り推進していく必要がある。				改善策及び展開方向					
	評価コメント									

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (678), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main project overview table (1. 事業の概要(PLAN)) including sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data for fiscal years 2018, 2019, and 2020.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table (2. 事業の評価(DO+CHECK)) with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性, and (6) 事後評価.

3. 事後評価

Post-evaluation table (3. 事後評価) with columns for 評価コメント and 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	679	課コード	0601	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	道路境界の査定	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	建設部・道路課		
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.08人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円	当該(開始)年度	(当初)	5,555千円 (うち人件費 704千円)				
				(変更後)	3,952千円 (うち人件費 704千円)					
(2) 目的	施策目的・展開方向	安全で快適に通行できるよう、道路用地と道路施設の適切な管理や効率的・効果的な維持補修を行います。			事業目的	市道に隣接する土地所有者が、市の土地との境界を明確にするために境界査定する。				
(3) 事業内容	内容	境界を確定するには、隣接地所有者の立会い求め同意が必要となります。また、事前に内部調査（他課）し関係者と打合せが必要となります。世界測地系に未変換の公共基準点を、その点の近くの公共工事に合わせ整備していく。			当該年度執行計画	申請があった場合、随時境界確定の立会いを実施する。				
		当該年度活動結果指標	境界査定確定率	単位	%	想定値	100	実績値	100	
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	官民境界を確定し不調・保留に至らないようにする。			直接	境界査定確定率		%	0	100	
令和2年度	官民境界を確定し不調・保留に至らないようにする。			直接	境界査定確定率		%		100	
令和3年度	官民境界を確定し不調・保留に至らないようにする。			直接	境界査定確定率		%		100	
(7) 事業実施上の課題と対応	境界の確定業務には専門的な知識・経験が必要			代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		道路区域確定委託料 原材料費 (道路境界石等)	4,860 494	道路区域確定委託料 原材料費 (道路境界石等)	2,460 788	道路区域確定委託料 材料費 (道路境界石等)	4,400 451	道路区域確定委託料 材料費 (道路境界石等)	4,400 451	
		予算(決算)額	合計	5,354	合計	3,248	合計	4,851	合計	4,851
		国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%
県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	
一般財源		5,354		3,248		4,851		4,851		
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0		
換算人数(人)		0.44		0.08		0.44		0.44		
正職員人件費		3,872		704		3,872		3,872		
嘱託職員報酬額		0		0		0		0		
臨時職員賃金額		0		0		0		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		9,226		3,952		8,723		8,723		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		92.26千円/%		39.52千円/%		36.21				

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	市有財産を適正に管理処分するためには、個々の私有財産の境界を明確にする必要がある。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 速やかに官民境界確定が行われた。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ■②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 市が国民財産の道路の管理義務があるため。	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要
	0	100	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (%)	達成率 (%) (f/b × 100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 申請に対し迅速にかつ正確に対応した。		
					100	100			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		○要 ●不要
	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託 <削減の内容>		実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100	○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	3,952	5,274			3,621	91.62			
	事業費削減率 (%)				<超過理由等>				
	57.16								
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		○要 ●不要
	2.53	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e) × 100			
		%	10万円		2.76	109.09			

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					
	適切な財産管理を行うために必要な業務であることから、今後も現状通り推進していく。									

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (680), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価, 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Post-evaluation table with columns: 現状, 改善策及び展開方向. Includes a comment field for the evaluation.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (681), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data for fiscal years 2019, 2020, and 2021.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 現状, 改善案及び展開方向. Includes a '評価コメント' field for feedback.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (682), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 30, 31, and 32.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a comment on rapid response and future improvement directions.

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (683), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a table for status and a comment field.

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (684), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main project overview table (1. 事業の概要 (PLAN)) containing sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table (2. 事業の評価 (DO+CHECK)) with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table (3. 事後評価) with columns for 評価項目, 評価コメント, and 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	686	課コード	0601	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	我孫子隧道の歩道改修		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	建設部・道路課		
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	■我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 □全市					
	⑤事業期間	平成14年度 ~ 平成31年度			⑥担当職員数	3人 (換算人数) 0.04人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	152,998千円		当該(開始)年度	(当初)	352千円 (うち人件費 352千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	63301	重点プロジェクトへの位置づけ	重点3	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	徒歩や自転車交通の安全性と快適性を高めるため、歩道の段差解消や障害物の除去などのバリアフリー化や、点字ブロックなどの安全施設の整備を進めるとともに、自転車走行空間の確保に努めます。			事業目的	我孫子隧道の歩道を改修することにより、歩行者及び自転車利用者が安全で快適に通行できるようにする。					
(3) 事業内容	内容	歩行者及び自転車利用者が安全で快適に通行できるよう、我孫子隧道の改修を行う。 南側取付け階段改修 (階段勾配5.1%を2.5%に改修済) 〔1期工事分〕 北側取付け階段改修 (階段勾配5.4%を4.7%に暫定改修済) 〔2期工事分〕 北側取付け階段改修 (階段勾配5.4%を2.5%に改修) 歩行者及び自転車利用者が安全で快適に通行できるよう、我孫子隧道の改修を行う。			当該年度執行計画	4月~12月 関係機関 (占有物管理者、JR、近隣住民) 協議					
		当該年度活動結果指標	対応策検討の進捗率	単位	%	想定値	10	実績値	10		
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	関係機関との調整を行い、2期工事分 (北側階段の改修) の方針を検討する。				直接	対応策検討の進捗率		%	0	10	
令和2年度	関係機関との調整を行い、2期工事分 (北側階段の改修) の方針を検討する。				直接	対応策検討の進捗率		%		20	
令和3年度	関係機関との調整を行い、2期工事分 (北側階段の改修) の方針を検討する。				直接	対応策検討の進捗率		%		30	
(7) 事業実施上の課題と対応	北側階段の改修は、用地の確保やJR構造物の移転等の課題が多く、多大な費用と時間を要することが予想されるため、我孫子駅脇の自由通路の計画に合わせ、今後の方針について検討する必要がある。				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			対応策の検討	0	*	対応策の検討	0	0	*	対応策の検討	0
		予算(決算)額	合計	0	合計	0	0	合計	0	合計	0
		国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0
		県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0
		起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0
		一般財源		0		0	0		0		0
		その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0
		換算人数(人)		0.04		0.04	0.04		0.04		0.04
正職員人件費		352		352	352		352		352		
嘱託職員報酬額		0		0	0		0		0		
臨時職員賃金額		0		0	0		0		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		352		352	352		352		352		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		3.52千円/%		35.2千円/%	35.2						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性)	我孫子隧道内には、隧道と交差する市道と階段で取り付く歩道が整備されているが (12時間通行量: 歩行者515人、自転車284人)、歩道を利用するために大きな迂回が必要で急なことから、特に自転車利用者の通行に支障をきたしている。このため、現状としては歩道が整備されていない本線の車道脇を通行する自転車等が多く (12時間通行量: 歩行者107人、自転車409台)、危険な状況となっている。また、我孫子隧道は、駅周辺における南北の往来施設として、重要な役割を担っていることから、歩行者、自転車利用者が安全で快適に通行できるよう、歩道取付け階段の改修並びに本線車道脇への歩道整備が必要となっている。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 歩行者・自転車利用者の安全確保のため、情報収集及び関係機関との調整を継続していく				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input checked="" type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他 ○②自治体である市が推進すべきである (理由) <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他				■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>			
市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)	参加・協働の内容				実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				改善検討
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし				○要 ●不要
環境への配慮	配慮の視点				実施した具体的な内容				改善検討
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし				○要 ●不要
(1) 目標設定は適切か?	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要
	0	10	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (%)	達成率 (%) (f/b × 100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 用地の確保やJR構造物の移転等の課題を解決できなかったため		
	10	100			10	100			
(2) 事業費削減の工夫をしているか?	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現行体制での対応 □③維持管理費削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100	事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	352	0	<削減の内容>		352	100	<超過理由等>		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	単位	費用単位	●①単年度の指標: 目標値 × 費用単位 / 事業費 ○②複数年度の指標: (目標値 - 現況値) × 費用単位 / 事業費		実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e) × 100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
	2.84	%	10万円			2.84	100		

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					
	用地の確保やJR構造物の移転等の課題は多いが、歩行者・自転車利用者の安全確保のため、引き続き推進していく									

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (687), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for Section 1: 事業の概要 (PLAN). Includes sub-sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with a detailed budget table for 平成30年度, 平成31年度, and 令和2年度.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Contains criteria for necessity, implementation, citizen participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Summary table for Section 3: 事後評価. Includes 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など). Includes a 評価コメント field.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (689), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価, 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns: 現状, 改善策及び展開方向. Includes a comment field for the project.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (692), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a table for current status and improvement directions.

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (693), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and checkboxes for improvement.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for future improvements and directions.

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (694), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status, evaluation comments, and improvement directions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (695), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns: 現状, 改善案及び展開方向. Includes a comment field for the evaluator.

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (696), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Footer table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善案及び展開方向.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (697), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価, 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation details including current status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1549), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価, 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns: 現状, 改善策及び展開方向. Includes a comment field for the project.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1550), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple sub-tables for budget, personnel, and performance metrics.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for comments and improvement directions.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	1790	課コード	0601	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	高野山新田交差点改良		実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	建設部・道路課	
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 ■天王台 □湖北 □新木 □布佐 □全市				
	⑤事業期間	平成29年度 ~			⑥担当職員数	4人 (換算人数) 0.08人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	704千円 (うち人件費 704千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)
	⑧施策の位置づけ	施策コード	63201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)
(2) 目的	施策目的・展開方向	安全で快適に通行できるよう、狭あい道路の拡幅や路側の改良など、市民の生活に密接にかかわる生活道路の計画的な整備を進めます。			事業目的	交差点の安全性を検証し、交通事故や渋滞のない安全な交通環境の推進を図る。				
(3) 事業内容	内容	信号処理による円滑な通行を確保するため、信号機設置が必要であり、これの要望を進めるとともに、交差点の適正な形状について検証し、改良していくものである。			当該年度執行計画	4月~3月 交差点検討				
		当該年度活動結果指標	交差点検討の進捗率	単位	%	想定値	10	実績値	10	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値 (6) 目標値	
当該年度	交差点の検討を行う				直接	交差点検討の進捗率		%	0 10	
令和2年度	交差点の検討を行う				直接	交差点検討の進捗率		%	20	
令和3年度	交差点の検討を行う				直接	交差点検討の進捗率		%	30	
(7) 事業実施上の課題と対応	隣接の市民農園や桃山公園駐車場の計画に併せ、交通動線などを検証し、事業を進める必要がある。道路拡幅に伴い、用地取得が必要である。				代替案検討	○有 ○無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		*: 用地交渉		0	*: 交差点検討(旧あやめ園)		0	*: 交差点検討(旧あやめ園)		0
		*: 交差点協議		0			0			0
		予算(決算)額	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	
	一般財源		0		0		0		0	
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他		□特会 □受益 □基金 □その他		□特会 □受益 □基金 □その他		□特会 □受益 □基金 □その他		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.08		0.08		0.08		0.08		
	正職員人件費	704		704		704		704		
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	704		704		704		704		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	7.04千円/%		70.4千円/%		70.4					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	当交差点周辺は市民農園や桃山公園などの施設への来訪者により、交通量の増加が見込まれるため、警察などと連携し、適切な交通安全施設の整備や交差点の改良を行うものである。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 交通量の増加に伴い、適切な交通安全施設の整備や交差点の改良が求められている				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 管理者である市が行う	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要
	0	10	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 交差点検討を進めることができなかった		
					10	100			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 ■⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
		事業費削減率(%)		<削減の内容> なし		<超過理由等>			
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	1.42	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
		%		10万円		1.42 100			

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					
	安全で快適な道路とするため、今後も現状通り推進していく									

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	1791	課コード	0601	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	道路環境美化の活動支援（アダプトプログラム）		実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	建設部・道路課		
	③事業主体	●市 ○その他（ ）			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	平成23年度～			⑥担当職員数	2人（換算人数）		0.03人			
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0千円		当該（開始）年度	（当初）	264千円（うち人件費 264千円）		（変更後）	千円（うち人件費 千円）	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	63203	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ○無		部門別計画への位置づけ	（計画名）	
(2) 目的	施策目的・展開方向	魅力ある快適な道路空間をつくるため、その地域や道路にふさわしい路面のインターロッキングブロック舗装、街路灯のLED化、サインのデザイン、街路樹の選定などを行うとともに、街路樹の適切な維持管理を行います。			事業目的	道路環境美化に対する市民意識の高揚を計るとともに、市民と行政との協働による健康で快適なまちづくりを推進する。					
(3) 事業内容	内容	道路の歩道及び駅前広場の植樹帯の維持管理を市民の自主的な参加により行なうことで道路空間の魅力化を図るとともに、関心を持つ市民を増やしていく。市としては、活動場所の確保や資材の貸し出し等支援を行う。			当該年度執行計画	1月 ホームページ作成 2月 市広報掲載 2月 募集開始 4月 事業スタート					
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）	関係機関との協議調整を行い、要綱を作成する			指標種類	指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該年度	道路環境美化に関心を持つ市民を増やす。	直接	団体数	17	20						
令和2年度	道路環境美化に関心を持つ市民を増やす。	直接	団体数		25						
令和3年度	道路環境美化に関心を持つ市民を増やす。	直接	団体数		30						
(7) 事業実施上の課題と対応	参加者の高齢化に対し、若い世代の参加を呼びかける。	代替案検討	○有 ●無								
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度			
		内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)		
		広報等による周知 ボランティアの登録	0	広報等による周知 ボランティアの登録	0	広報等による周知 ボランティアの登録	0	広報等による周知 ボランティアの登録	0		
		0	0	0	0	0	0				
		0	0	0	0	0	0				
予算(決算)額	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0			
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0			
起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0			
一般財源		0		0		0		0			
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0			
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.04	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04			
正職員人件費	352	264	264	352	352	352	352	352			
嘱託職員報酬額	0	0	0	0	0	0	0	0			
臨時職員賃金額	0	0	0	0	0	0	0	0			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	352	264	264	352	352	352	352	352			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	0.29千円/人	13.2千円/団体	14.67								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？（事業の必要性）	ボランティアで道路美化活動を行う団体を支援し、道路愛護意識の高揚、道路環境の向上及び地域住民の交流促進を図る必要がある。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 趣旨に賛同し登録した団体が多かった。				○要 ●不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない（理由） □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> ボランティア団体へ参加団体としての登録を促す。		○要 ●不要	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要	
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (団体)	目標値(b) (団体)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要		
	17	20	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である		実績値(f) (団体)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 参加団体が継続してくれたため。また、新たに1団体登録してくれたため。	○要 ●不要		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	実施予定の対策	実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過	事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	○要 ●不要	
		264	88	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託	264	100	<超過理由等>		○要 ●不要	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ●③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 協力依頼をしているが、登録まで至らなかったため。	○要 ●不要
	7.58	単位 費用単位 団体 10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100			○要 ●不要	

3. 事後評価									
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									
評価コメント	今後も継続して、参加団体への支援及び新規登録を増やすための勧誘を進める。				改善策及び展開方向				

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1889), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, objectives, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1925), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Detailed project information including purpose, content, goals, and budget breakdown for fiscal year 31 and the next three years.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for necessity, citizen participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a comment about radiation levels and future improvement directions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1970), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (2119), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a row for overall status and a comment field.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (2157), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns: 現状, 改善案及び展開方向. Includes a '評価コメント' section.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	2174	課コード	0601	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	新木駅北口地区の道路整備		実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	建設部・道路課					
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 ■新木 □布佐 □全市								
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	5人 (換算人数)		0.09人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	792千円 (うち人件費 792千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	63201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)				
(2) 目的	施策目的・展開方向	安全で快適に通行できるよう、狭あい道路の幅や路切の改良など、市民の生活に密接にかかわる生活道路の計画的な整備を進めます。			事業目的	新木駅北口の国道356号から新木駅北口までの地区の道路整備を行い、安全で円滑な通行を確保する。								
(3) 事業内容	内容	国道356号から新木駅北口までの安全かつ円滑な通行を確保するための道路整備を行う。			当該年度執行計画	現況を調査し、通行形態を検討する。								
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	%	想定値	5			
当該年度	現況を調査し、通行形態を検討する。				直接	検討の進捗度		%		実績値	5			
令和2年度	現況を調査し、通行形態を検討する。				-	検討の進捗度		%			10			
令和3年度	現況を調査し、通行形態を検討する。				-	検討の進捗度		%			15			
(7) 事業実施上の課題と対応	道路整備には用地の確保が必要である				代替案検討	○有 ●無								
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度						
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)			
		政策	現況調査、通行形態の検討	0	政策	現況調査、通行形態の検討	0	0	政策	*概略設計	1,815	政策	*現地測量	4,000
		内容			内容			内容			内容			
		合計	0	0	合計	0	0	合計	1,815	合計	4,000			
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0				
県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0				
起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	0	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0				
一般財源		0		0	0	0		1,815		4,000				
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0				
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.07		0.09	0.09		0.07		0.14					
正職員人件費	616		792	792		616		1,232						
嘱託職員報酬額	0		0	0		0		0						
臨時職員賃金額	0		0	0		0		0						
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	616		792	792		2,431		5,232						
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	6.16千円/%		158.4千円/%		158.4									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	新木駅駅舎の改修に伴い、駅利用者の利便性向上が期待されるが、駅北口地区は道路が狭く、駅利用者の通行の安全性が確保されていないため、道路整備により通行の安全性の確保が必要である。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 道路整備により通行の安全性を確保する必要がある				○要 ●不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他 ○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他				■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>				○要 ●不要	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容 ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし				実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容) 該当なし				参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因> なし	○要 ●不要
環境への配慮	配慮の視点 □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				実施した具体的な内容 該当なし				環境への配慮 ●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>	○要 ●不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (%)	目標値(b) (%)	目標値の妥当性のチェック ■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		達成状況 実績値(f) (%)	達成率(%) (f/b×100)	●①目標値達成 ○②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因> 道路整備ルートの変更が困難であるため			○要 ●不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減 事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	実施予定の対策 □①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託 <削減の内容>		実施状況 実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>			○要 ●不要
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法 ●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		達成状況 実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> ○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下			○要 ●不要

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					
	駅への安全性を図るため、引き続き推進していく									

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (2224), 課コード (0601), 会計種別, 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.